

佐賀育英会100年史（1921～2021）発刊のお知らせ

公益財団法人佐賀育英会（碓正義理事長）は、今年6月に創立100周年を迎えるにあたり、事業運営の歴史をまとめた「佐賀育英会100年史」（B5判、207頁）を発刊しました。同育英会初代総裁で佐賀藩第11代藩主鍋島直大侯爵、初代副総裁大隈重信侯爵から始まる歴史を語る貴重な資料となります。

佐賀育英会は、鍋島家当主を歴代総裁として、中隈敬蔵・元会計検査院長（大正7～13年）、田中鐵三郎元朝鮮銀行総裁（昭和26～44年）、牛丸義留・元厚生事務次官（平成6～11年）、今泉正隆元警視総監（平成11～19年）などが理事長を務めてきました。

佐賀出身者や佐賀にゆかりのある学生の支援を目的に、主な事業として大学生寮「松濤学舎」（東京都小金井市）の運営や、学生への奨学事業、佐賀県の高校生・教員への顕彰事業などを行ってきました。

100年史は、第1章「100年の歩み」・第2章「松濤学舎」・第3章「松風学舎と丘隅舎」・第4章「佐賀育英会を支えた人々」・第5章「佐賀育英会100年に寄せて」・「資料編」で構成。第2代総裁鍋島直映侯爵から初代理事長の中隈氏宛てに送られた直筆の書状、コロナ禍でも元気に過ごす松濤学舎現舎生たちなどを写真グラフで紹介したほか、第1章の創立期では、大隈侯爵、波多野敬直子爵から育英会発足を呼び掛けた「佐賀育英会設立趣意書」など貴重な資料を収容しました。

現総裁の鍋島直晶・鍋島報効会会長は「二十一世紀の日本や世界を担う若人の育成、支援に力を尽くす」、碓理事長は「次の世代が希望をもって困難な課題に立ち向かっていこうと思えるような社会を残す責務がある」とあいさつ文を寄せています。



◆「佐賀育英会100年史（1921～2021）」をご希望の方は、下記住所またはアドレス・URLに住所・連絡先（電話番号・メールアドレス）を明記の上、ご連絡下さい。  
〒184-0013 東京都小金井市前原町3-3-28 公益財団法人佐賀育英会 Tel.042-381-3676  
アドレス：[nabeshima2021@iaa.itkeeper.ne.jp](mailto:nabeshima2021@iaa.itkeeper.ne.jp)  
URL：<http://www.shoutougakusya.com>

◆報道関係者のお問合せは、編集委員長大坪（090-2651-6690）まで